

RecordNow DX/DLAについて

RecordNow DX/DLAでできること	3
RecordNow DXとDLAをインストールするには	4
データを書き込むときの注意	7
RecordNow DXの使いかた	9
DLAの使いかた	15
RecordNow DXとDLAを削除するには	18
困ったときには	21

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows	次のいずれかを指します。 Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版 Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版 Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0日本語版
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版
Windows 2000、 Windows 2000 Professional	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0日本語版
RecordNow DX	VERITAS RecordNow DX
DLA	VERITAS DLA

Microsoft、Windows、Windows NT、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
VERITAS RecordNowおよびVERITAS DLAは、米国VERITAS Software Corp.の米国における登録商標です。

RecordNow DX/DLAでできること

RecordNow DXは、CD-RやCD-RWにデータを書き込むことができるアプリケーションです。データを書き込む以外にも、音楽CDを作成したり、CD全体をバックアップする機能があります。

DLAは、フロッピーディスクやハードディスクと同じような感覚でCD-RやCD-RWにデータを保存したり移動したりすることができるアプリケーションです。比較的簡単にデータを保存することができるので、データのバックアップなどに適しています。

RecordNow DXとDLAをインストールするには

RecordNow DXとDLAは、購入時にはインストールされていません。
ここでは、これらのアプリケーションのインストール手順を説明します。

- ✓ **チェック!!** Windows 2000/Windows NT 4.0でインストールする場合は、必ずAdministrator権限を持つユーザーでログインしてください。

ここでは、CD-R/RWドライブを例に説明しています。CD-R/RW with DVD-ROMドライブをお使いの場合には、「CD-R/RWドライブ」を「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」に読み替えてください。

RecordNow DXをインストールする

1 「RecordNow DX / DLA CD-ROM」をCD-R/RWドライブにセットする

セットアップの画面が表示されます。表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックし、表示された画面でCD-R/RWドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 「RecordNow DXのセットアップ」をクリックする

しばらくすると、「VERITAS RecordNow DX セットアップウィザードへようこそ」と表示されます。

Windows NT 4.0の場合、「Windowsインストーラに行った構成の変更を有効にするには、システムを再起動する必要があります。」と表示される場合があります。その場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。Windowsが再起動します。再起動後、「VERITAS RecordNow DX セットアップウィザードへようこそ」と表示されます。

3 「次へ」ボタンをクリックする

「ユーザ使用許諾契約」と表示されます。

4 契約に同意のうえ、「この使用許諾契約の条件に同意します。」の

☐をクリックして☒にし、「次へ」ボタンをクリックする

「顧客情報」と表示されます。

5 ユーザー名、会社名を入力し、「次へ」ボタンをクリックする

「インストール先」と表示されます。

インストール先を変更する場合は「参照」ボタンをクリックし、インストール先を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

6 「次へ」ボタンをクリックする

「インストールの準備完了」と表示されます。

7 「インストール」ボタンをクリックする

セットアップが始まります。

しばらくすると「VERITAS RecordNow DX セットアップウィザードを終了します。」と表示されます。

8 「終了」ボタンをクリックする

「インストーラ情報」ウィンドウが表示されます。

9 「はい」ボタンをクリックする

Windowsが再起動します。

Windowsが再起動するまで、CD-ROMを取り出さないでください。

10 CD-R/RWDドライブから「RecordNow DX/DLA CD-ROM」を取り出す

DLAをインストールする

1 「RecordNow DX / DLA CD-ROM」をCD-R/RWDドライブにセットする

セットアップの画面が表示されます。表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックし、表示された画面でCD-R/RWDドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 「DLAのセットアップ」をクリックする

しばらくすると、「VERITAS DLA セットアップウィザードへようこそ」と表示されます。

Windows NT 4.0の場合、「Windowsインストーラに行った構成の変更を有効にするには、システムを再起動する必要があります。」と表示される場合があります。その場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。Windowsが再起動します。再起動後、「VERITAS RecordNow DX セットアップウィザードへようこそ」と表示されます。

3 「次へ」ボタンをクリックする

「ユーザ使用許諾契約」と表示されます。

4 契約に同意のうえ、「この使用許諾契約の条件に同意します。」の○をクリックして●にし、「次へ」ボタンをクリックする

「顧客情報」と表示されます。

5 ユーザー名、会社名を入力し、「次へ」ボタンをクリックする

「インストール先」と表示されます。

インストール先を変更する場合は「参照」ボタンをクリックし、インストール先を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

6 「次へ」ボタンをクリックする

「インストールの準備完了」と表示されます。

7 「インストール」ボタンをクリックする

インストールが始まります。

しばらくすると「VERITAS DLA セットアップウィザードを終了します。」と表示されます。

8 「終了」ボタンをクリックする

「インストーラ情報」ウィンドウが表示されます。

9 「はい」ボタンをクリックする

Windowsが再起動します。

Windowsが再起動するまで、CD-ROMを取り出さないでください。

10 CD-R/RWドライブから「RecordNow DX/DLA CD-ROM」を取り出す

データを書き込むときの注意

ここでは、CD-RやCD-RWにデータを書き込むときに注意していただきたい点について説明しています。

CD-RやCD-RWへの書き込み

使用できるCD-RおよびCD-RWは、ISO9660に準拠したディスクです。書き込みできる容量は、使用するアプリケーションによって異なりますので、詳しくはアプリケーションのヘルプをご覧ください。

CD-RまたはCD-RWに書き込みするときは、「RecordNow DX」または「DLA」というアプリケーションを使用します。

それぞれの機能や使用方法については、「RecordNow DXの使いかた」(→p. 9)または「DLAの使いかた」(→p. 15)をご覧ください。

CD-RやCD-RWへ書き込むときの注意

- ・ お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCDなどからのコピー作成およびその利用のための著作権を所有していなかったり、著作権の所有者からコピーの許可を得ていない場合は、使用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。コピーの際は、オリジナルのCDの使用許諾条件、複製に関する注意事項にしたがってください。
- ・ RecordNow DXなど、Track at once(トラック アット ワンス)方式やDisk at once(ディスク アット ワンス)方式で書き込みを行うアプリケーションでは、CD-RまたはCD-RWへのデータ書き込み中に、他のアプリケーションを使用したり、自動的に省電力機能が働いたり、一定時間が経過すると動作するスクリーンセーバーやメールの自動受信プログラムなどが常駐していると、書き込みエラー(バッファアンダーラン)が発生する場合があります。書き込みエラーの発生を抑えるため、データ書き込みの際は他の動作プログラムを閉じ、省電力機能や常駐するプログラムを無効(オフ)にすることをおすすめします。
- ・ バッテリーの残量がなくなると、書き込みエラーの原因になります。バッテリーのみで本機を使用している場合は、書き込みを行う前にACアダプタを接続して、ACコンセントから電源を供給してください。
- ・ 本機に振動や衝撃をあてないでください。書き込みエラーの原因となります。

・ディスクにデータを書き込むために、パソコンはCD-R/RWドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブにデータを転送しています。転送されてきたデータはバッファ(データの一時的な蓄積場所)に貯められてから、ディスクに書き込まれますが、途中で割り込んでくる操作(たとえばスクリーンセーバーの起動など)があると、バッファへのデータの転送に遅れが生じてバッファが空になってしまい、ディスクへの書き込みに失敗してしまうことがあります。このような現象を「バッファアンダーラン」と呼びます。

・DLAなど、Packet Write(パケット ライト)方式で書き込みを行うアプリケーションでは、書き込みエラー(バッファアンダーラン)は起こりません。

- ・書き込みに失敗したCD-Rは再生できなくなります。書き込みの失敗によるCD-Rの補償はできませんので注意してください。
- ・DLAを使って、データの書き込みや削除をくりかえすと、CD-Rの空き容量が減っていきます。
- ・フォーマット形式などによっては、他のCD-ROMドライブなどでは使用できない場合があります。
- ・市販されているCD-RおよびCD-RWの一部に規格外のものがあります。規格外のCD-RおよびCD-RWでは正常に読み込めない場合があります。
- ・データを書き込んだCD-RWを他のパソコンで読む場合、マルチリード対応のCD-ROMドライブを使用してください。マルチリード対応CD-ROMドライブの確認は、各メーカーにお問い合わせください。

マルチリード対応のCD-ROMドライブとは、CD-RWを読み出せるようにしたCD-ROMドライブのことです。CD-RWはCD-ROMに比べて光の反射率が低いため、マルチリードに対応していないCD-ROMドライブでは読み出すことができません。

RecordNow DXの使いかた

ここでは、RecordNow DXを使ってCD-RまたはCD-R/RWにデータを書き込むときの基本的な操作を説明しています。そのほかの機能や使い方について詳しくは、「詳しい使いかたについて」(→p.14)をご覧ください。

- ・ここでは、CD-R/RWドライブを例に説明しています。CD-R/RW with DVD-ROMドライブをお使いの場合には、「CD-R/RWドライブ」を「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」に読み替えてください。
- ・RecordNow DXで書き込んだCD-RWは、マルチリード対応のCD-ROMドライブで読み出すことができます。

RecordNow DXを起動する

「スタート」ボタン →「プログラム」→「VERITAS Software」→「RecordNow DX」-「RecordNow DX」をクリックします。

データを書き込む

ここでは、CD-Rを使ったデータの書き込みについて説明します。

はじめに、CD-Rを用意しておいてください。

なお、CD-RWの場合でも同様の手順で利用できます。その際は、「CD-R」を「CD-RW」に読み替えてください。

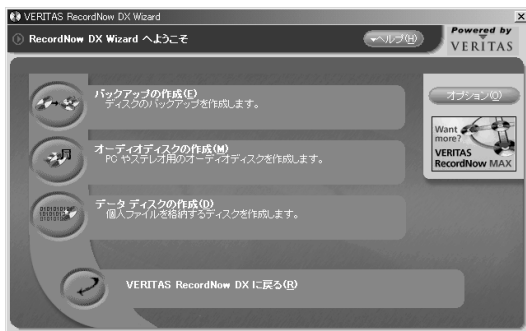
◎ ディスクのバックアップ

ここでは、オリジナルディスクのバックアップを作成する方法について説明します。

 **チェック!!** この方法では、コピー元のディスクの構成を変更してバックアップを作成することはできません。

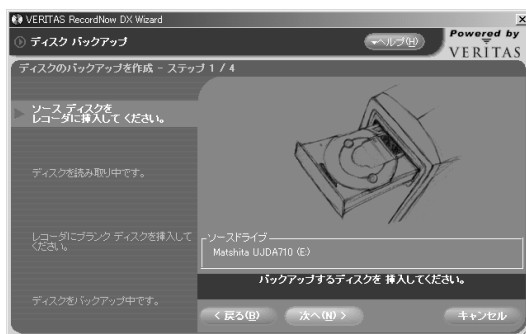
1 RecordNow DXを起動する(→p.9)

「RecordNow DX Wizard へようこそ」と表示されます。



2 「バックアップの作成」をクリックする

「ディスク バックアップ」と表示され、ディスクトレイが少し飛び出します。



3 オリジナルのディスクをディスクトレイにセットする

4 「次へ」ボタンをクリックする

オリジナルのディスクの読み取りが行われます。読み取りが終了すると、ディスクトレイが少し飛び出します。

5 ディスクトレイに新しいCD-Rをセットする

6 「次へ」ボタンをクリックする

7 「OK」ボタンをクリックする

ディスクのバックアップがはじまります。バックアップが終了すると、ディスクトレイが少し飛び出します。

「ディスクのバックアップが完了しました。」と表示されます。

同じディスクをもう一枚作る場合は、ディスクトレイに新しいCD-Rをセットし、「もう一枚作成」ボタンをクリックします。

8 「完了」ボタンをクリックする

これでディスクのバックアップができました。

◎ オーディオディスクの作成

ここでは、複数の音楽CDから、好きな曲をピックアップしてオリジナルCDアルバムを作成する方法について説明します。

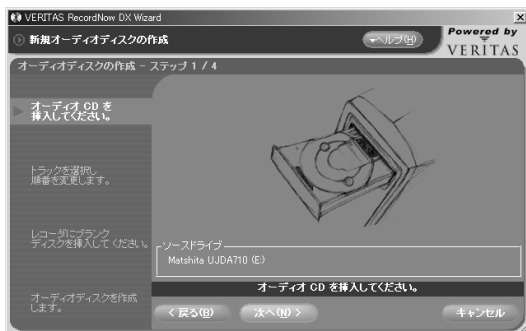
1 RecordNow DXを起動する(→p.9)

「RecordNow DX Wizard へようこそ」と表示されます。

2 「オーディオディスクの作成」をクリックする

3 「他の CD からオーディオ ディスクを作成」をクリックする

「新規オーディオディスクの作成」と表示され、ディスクトレイが少し飛び出します。



4 音楽CDをディスクトレイにセットする

5 「次へ」ボタンをクリックする

音楽CDに収録されている曲の一覧が表示されます。

6 録音したい曲をクリックして選ぶ

音楽CDのデータは、収録された曲順に表示されます。をクリックすると、選んだ曲を再生して確認できます。

7 追加(A) をクリックする

右側の欄に追加する曲が表示されます。

8 1枚目の音楽CDから録音したい曲を選び終わったら、「次のCD」ボタンをクリックする

音楽データの読み取りがはじまります。
読み取りが終了すると、ディスクトレイが少し飛び出します。

9 音楽CDを入れ替えて「OK」ボタンをクリックする

録音する曲をすべて選び終わるまで、手順6～9をくりかえします。
録音したいすべての曲の選択が終了したら、手順7を実行後、手順10に進んでください。

10 録音する曲を整理する

削除(R) をクリックすると、選択した曲を削除することができます。
  ボタンをクリックすると、曲の順番を入れ替えることができます。

11 「完了」ボタンをクリックする

ディスクトレイが少し飛び出します。

12 ディスクトレイに新しいCD-Rをセットする

13 「次へ」ボタンをクリックする

「警告」ウィンドウが表示されます。

14 「OK」ボタンをクリックする

ディスクの書き込みがはじまります。書き込みが終了すると、ディスクトレイが少し飛び出します。

「ディスクの作成が完了しました。」と表示されます。

同じディスクをもう一枚作る場合は、ディスクトレイに新しいCD-Rをセットし、「もう一枚作成」ボタンをクリックします。

15 「完了」ボタンをクリックする

これでオーディオディスクが作成できました。

◎ データディスクの作成

ここでは、パソコンのデータをCD-Rに保存する方法について説明します。

1 RecordNow DXを起動する(→p.9)

「RecordNow DX Wizard へようこそ」と表示されます。

2 「データ ディスクの作成」をクリックする

「新規データ ディスクの作成」と表示され、ディスクトレイが少し飛び出します。

3 新しいCD-Rをディスクトレイにセットする

4 「次へ」ボタンをクリックする

5 「フォルダとファイルを追加」ボタンをクリックする

「追加するファイルとフォルダを選択」ウィンドウが表示されます。

6 保存するフォルダやファイルをクリックして選択する

7 「追加」ボタンをクリックする

追加したフォルダやファイル名が表示されます。

追加したフォルダやファイルをすべて選択し終わるまで手順5～7を繰り返します。

8 「次へ」ボタンをクリックする

「警告」ウィンドウが表示されます。

9 「OK」ボタンをクリックする

ディスクの書き込みがはじまります。書き込みが終了すると、ディスクトレイが少し飛び出します。

「ディスクの作成が完了しました。」と表示されます。

同じディスクをもう一枚作る場合は、ディスクトレイに新しいCD-Rをセットし、「もう一枚作成」ボタンをクリックします。

10 「完了」ボタンをクリックする

これでデータのバックアップができました。

詳しい使いかたについて

詳しい使いかたについては、「RecordNow DX」の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

「ユーザーズガイド」は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「VERITAS Software」→「RecordNow DX」→「ユーザーズガイド」で見ることができます。

DLAの使いかた

ここでは、DLAを使ってCD-R、CD-RWにデータを書き込むときの基本的な操作を説明しています。そのほかの機能や使い方について詳しくは、「詳しい使いかたについて」(→p.17)をご覧ください。

- ここではCD-R/RWドライブを例に説明しています。CD-R/RW with DVD-ROMドライブをお使いの場合には、「CD-R/RWドライブ」を「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」に読み替えてください。
- ここでは、CD-Rを例に説明しています。CD-RWをお使いの場合には、「CD-R」を「CD-RW」に読み替えてください。

DLAを起動する

「スタート」ボタン→「プログラム」→「VERITAS Software」-「DLA※」-「DLAツールキット」をクリックします。

※機種によってはDLAと表示されます。

タスクトレイ(インジケータ領域)のをダブルクリックしてはじめることもできます。

フォーマットする

DLAで使用するCD-Rは、あらかじめフォーマットしておく必要があります。データを書き込む前に、以下の手順でフォーマットしてください。

すでにDLAでフォーマット済みのCD-Rを使用する場合は、この手順は必要ありません。次の「データを書き込む」(→p.16)の手順に進んでください。

1 DLAを起動する

「Drive Letter Accessようこそ」と表示されます。

2 「フォーマット」ボタンをクリックする

「新規ディスクの作成」と表示されます。

3 新しいCD-RをCD-R/RWドライブにセットする

4 「次へ」ボタンをクリックする

ここで、ボリュームラベルの設定やフォーマットの種類の選択などができます。

5 「次へ」ボタンをクリックする

警告のメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。

フォーマットがはじまります。
フォーマットが終了するまでしばらくお待ちください。

フォーマットが終了した後、続けてデータの書き込みを行う場合は、次の「データを書き込む」の手順3に進んでください。

データを書き込む

以下の手順を行わずに、Windowsのエクスプローラなどでデータを書き込むこともできます。

ここでは、DLAを起動してデータを書き込む手順を説明します。

1 DLAを起動する(→p.15)

「Drive Letter Accessによろこそ」と表示されます。

2 DLAでフォーマットしたCD-RをCD-R/RWドライブにセットする

3 「エクスプローラ」ボタンをクリックする

CD-Rの内容が表示されます。

4 CD-Rにデータを書き込む

フロッピーディスクやハードディスクと同じように、Windowsの「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」を使ってデータを書き込むことができます。

- ・「プロパティ」ボタンをクリックすると、使用領域、空き領域などを確認することができます。
- ・ほかのパソコンでデータを読み出す場合は、「互換化」ボタンをクリックし、表示された画面にしたがって操作してください。

 **チェック!!** 互換化したCD-Rにはデータの書き込みができなくなります。再度そのCD-Rにデータを書き込む必要がある場合は「互換化」を行わないでください。

CD-Rを取り出す

1 インジケータ領域(タスクトレイ)に表示されているを右クリックする

メニューが表示されます。

2 ドライブを選んで「取り出し」をクリックする

ディスクトレイが少し飛び出します。

詳しい使いかたについて

DLAの詳しい使いかたについては、DLAのヘルプをご覧ください。

DLAのヘルプは、「スタート」ボタン→「プログラム」→「VERITAS Software」
→「DLA」→「DLA ヘルプ」で見ることができます。

RecordNow DXとDLAを削除するには

✓ **チェック!!** Windows 2000/Windows NT 4.0でRecordNow DXとDLAを削除するときは、必ずAdministrator権限を持つユーザーでログインしてください。

RecordNow DXを削除する

◎ Windows Me/Windows 98/Windows NT 4.0の場合

- 1** 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
- 2** 「インストールと削除」タブをクリックする
- 3** 一覧から「VERITAS RecordNow DX」をクリックする
- 4** 「追加と削除」ボタンをクリックする
「VERITAS RecordNow DX セットアップウィザードへようこそ」と表示されます。
- 5** 「次へ」ボタンをクリックする
「インストールの変更・修復・削除」と表示されます。
- 6** 「削除」ボタンをクリックする
「VERITAS RecordNow DX を削除しますか?」と表示されます。
- 7** 「削除」ボタンをクリックする
「VERITAS RecordNow DX セットアップウィザードを終了します。」と表示されます。
- 8** 「終了」ボタンをクリックする

これで削除は完了です。

◎ Windows 2000の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする**
- 2 「プログラムの変更と削除」ボタンをクリックする**
- 3 一覧から「VERITAS RecordNow DX」をクリックする**
- 4 「削除」ボタンをクリックする**
「コンピュータから VERITAS RecordNow DX を削除しますか?」と表示されます。
- 5 「はい」ボタンをクリックする**

これで削除は完了です。

DLAを削除する

◎ Windows Me/Windows 98/Windows NT 4.0の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする**
- 2 「インストールと削除」タブをクリックする**
- 3 一覧から「VERITAS DLA」をクリックする**
- 4 「追加と削除」ボタンをクリックする**
「VERITAS DLA セットアップウィザードへようこそ」と表示されます。
- 5 「次へ」ボタンをクリックする**
「インストールの変更・修復・削除」と表示されます。
- 6 「削除」ボタンをクリックする**
「VERITAS DLA を削除しますか?」と表示されます。

7 「削除」ボタンをクリックする

「VERITAS DLA セットアップウィザードを終了します。」と表示されます。

8 「終了」ボタンをクリックする

「インストーラ情報」ウィンドウが表示されます。

9 「はい」ボタンをクリックする

Windowsが再起動します。

これで削除は完了です。

◎ Windows 2000の場合

1 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする

2 「プログラムの変更と削除」ボタンをクリックする

3 一覧から「VERITAS DLA」をクリックする

4 「削除」ボタンをクリックする

「コンピュータから VERITAS DLAを削除しますか?」と表示されます。

5 「はい」ボタンをクリックする

削除が始まります。

しばらくすると再起動のメッセージが表示されます。

6 「はい」ボタンをクリックする

Windowsが再起動します。

これで削除は完了です。

困ったときには

CD-RまたはCD-RWに書き込み中にエラーになった

◆書き込み中にスクリーンセーバーが起動したり、本機がスリープ状態になったりしませんでしたか？

RecordNow DXなどのトラックアットワンス方式やディスクアットワンス方式のCD-R書き込みソフトを使って、CD-RまたはCD-RWにデータの書き込みを行う場合、他のアプリケーションが起動していたり、省電力機能が働くと書き込みエラーになることがあります。

CD-RまたはCD-RWに書き込みを行う場合には、以下の操作をおすすめします。

- ・ スクリーンセーバーを起動させないようにする
- ・ スリープ状態に移行させないようにする
- ・ 他のアプリケーションを終了する
- ・ 常駐プログラムをオフにする

◆ACアダプタを接続していますか？

CD-RまたはCD-RWにデータを書き込んでいるときにバッテリーの残量がなくなると、データの書き込みに失敗します。CD-RまたはCD-RWにデータを書き込むときには、かならずパソコンにACアダプタを接続してお使いください。

2001年10月
初版
853-810028-232-A